

ホホホ・ザ・わいわい

浄土寺いーばしょづくり事業

2021年3月3日

私たちは「地域で人と人がつながる機会を作り、誰もがその人らしく安心して暮らせることをめざす」ことを目的に活動して3年目になりました。昨年度に引き続き、障がいの有無や年齢による福祉の制度の枠を超えて、様々な境遇にいる人の居場所（いーばしょ）や活躍の場を開発、創出していく活動を、地域の人たちや「ホホホ座」のような文化拠点と共に行っています。

◎0えんマーケット



25回開催、スタッフ数は通算54名 (2021年2月末まで集計)

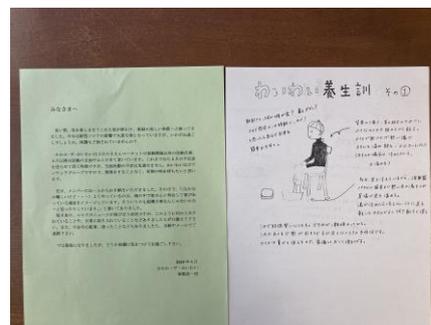
昨年の3月までフリーマーケットの無料版を、ホホホ座の店舗前スペースをお借りして毎月第2土曜日に開催してきました。今年度はコロナ対応として、開催日を告知せずにスタッフは別場所で待機するという「無人」の形で年度途中より再開しました。道行くご近所の方の楽しみになっていること、また「やってるかな」と思ってわざわざ足を運んで下さる方がいます。物品の提供の申し入れは続いており、リサイクルという点でのこのマーケットを継続していくことと、仕分けスタッフや保管場所の確保等の検討が必要になっています。

◎わいわい通信発送

494部、スタッフ26名 (2021年2月末まで集計)

昨年度までは月別の予定表を作成して配布してきました。コロナによって多数で集まるのが難しくなり、昨年度までのような活動ができない中、ホホホ・ザ・わいわいからのお知らせと再開してきた活動の報告を載せた「わいわい通信」。季節ごとの過ごし方などを「養生訓」としてお届けしてきました。

一人暮らしの方や会えなくなったメンバーの方たちへの定期的なお便りは双方にとって大きな励みとなりました。返信ハガキをつけたお便りの際には近況も寄せられました。



◎その他

障害当事者自身がやれることをやるための運営の話し合いや近況交流などのピアミーティングをLINE通話なども利用して開催（毎月1回、通算42名参加）。また昨年度よりも個別の対応を大切にしてきました（343名）。